

テーマ設定型事業（令和5年度活動事例）

町内会・自治会向けのLINE活用講座事業

事業の内容

町内会の役員など、地域活動のデジタル化を支援するため、スマートフォンの基本操作やLINEの活用に関する講座を、準備編・応用編に分けて開催し、役員の負担軽減に役立つ機能を学びました。

- ・日時 令和5年7月 60分×全6回
- ・参加者数 のべ30人（各回定員5人）



町内会役員の負担軽減のために

これまでは、紙の資料を各役員に届けたり、必要に応じて集合形式での話し合いをしたりしていました。今回の講座を経て、町内会役員10人のLINEグループを作成したことで、情報共有がしやすくなり、簡易な協議はLINEのトーク画面上でできるようになりました。双方向のコミュニケーションが可能となり、情報共有がタイムリーにできることから町内会の運営がしやすくなりました。

【実施主体】

緑が丘一丁目北区町内会

【設立年月日】

昭和52年10月

【代表者】

会長 藤原 徳雄

【主な活動実績】

- 生活環境整備
- 親睦活動
 - ・グラウンドゴルフ大会開催
 - ・寺子屋講座
（天体観望会、懐かしい歌を歌う会）
 - ・敬老慶祝会
 - ・防災講座

【令和5年度補助額】

100,000円

【事業のテーマ】

町内会・自治会のデジタル化を支援する
取組
（協働担当課：情報企画課）

また、作成した町内会の公式LINEを活用できるようになり、その登録者は50名を超えています。これにより、情報伝達の手段が複数になったことと登録した人と双方向のコミュニケーションが取れるようになりました。

町内のスマートフォン所持率は高くないため、情報共有の手段は複数を確認しつつ、町内会のデジタル化に向けて継続して取り組んでいきたいと思いました。